

# Writing Support Center News Letter

ライティングサポートセンターニュースレター

No.005 発行日：2023年4月28日

ライティングサポートセンター・ニュースレターは、当センターの活動を、先生方により知っていただき、ご活用願うこと、学生に向けて利用を促していただくことを目的に発行しています。

## 巻頭言

## よりよく生きるためのアカデミック・ライティング

学修支援・教育開発センター長 出羽 孝行

大学に入学した皆さんが最初に戸惑うのは、レポートの作成でしょう。論理的な文章の書き方、つまりアカデミック・ライティングの技法を身につけることは大学での学びの必須ですが、大学を卒業するためだけのものなののでしょうか。答えは「ノー」です。ここでは以下の3点から論理的な文章の書き方を身につける意味について述べてみたいと思います。

一点目は、賢い情報の受け手になれるということです。近年はインターネットやSNSをはじめ、既存のメディア以外に様々なところから情報が発信されており、そこでは膨大な情報の中で真偽を見分けることが重要になってきています。相手に、論理的に根拠を示しながら自らの主張を伝える方法を知っているということは、逆に言えば、前提とする根拠が曖昧であったり、論理的な筋道が明確でない情報に接したときに問題を見極めることができるのです。いわゆるフェイクニュースというものが世間を賑わせていることがありますが、一見しただけではフェイクニュースを見破ることは難しいといわれます。そんなとき、アカデミック・ライティングで培った力は役立つことでしょう。

二点目は、社会に出た後も役立つということです。小熊英二は『基礎からわかる論文の書き方』（講談社現代新書、2022年）の「はじめに」において、同書は企業で報告書を書くのにも役立つとしています（p.4）。逆に言えば、論理的な文章を書く作業は一朝一夕に身につくものではないのです。たとえ、企業や官公庁などで報告書のような文書を作成する機会がなくても、自分の書いた文章を第三者の視点で見直すことは自身を見つめ直すことにもなるでしょう。そこから、自分と立場の異なる他者へ関心が生まれることもあるかもしれません。



(次頁へつづきます)

三点目は、「損をせずに」生きていくことができます。実は私たちは知らないことだらけの中で生きています。学校で習うことは世の中のことのごく一部です。しかも、残念ながら自分の知っていることを他者と共有しようとする人ばかりではありません。情報そのものが価値を帯びている場合は特にそうでしょう。では、特定の分野の専門家でない一般の人々が情報を身につけ、それを知識にするためにはどうすればよいでしょうか。アカデミック・ライティングの技法を学ぶ中で自分が必要とする情報をどのようにして入手できるか、それらをどう価値付けるかという力を身につけることができるのです。一見、難易度が高いと思われるこうした作業も、論文やレポートに取り組んだことのある人にとっては十分に対応できるはずで

以上、3つの点からアカデミック・ライティングの技法を身につけることの意義を述べてきました。海外では小学校の時から基礎を学校で教えているところもあると言われてはいますが、日本の場合、これまでは大学に入ってから学ぶことも多かったと思います。しかし、その学びは大学生活にとどまるものではありません。大学生の皆さんが龍谷大学のキャンパスにあるライティングサポートセンターを活用しながら、豊かな人生を送るための学びを身につけられることを願っています。

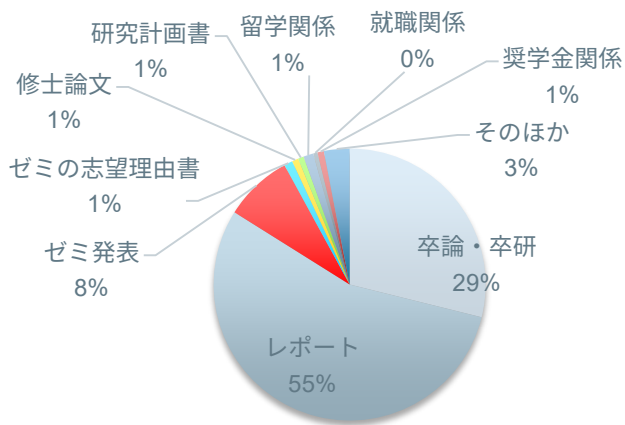
## ご報告 2022年度の実績

### (1) 相談者総数：1141人（のべ、対面：1079人、オンライン：62人）

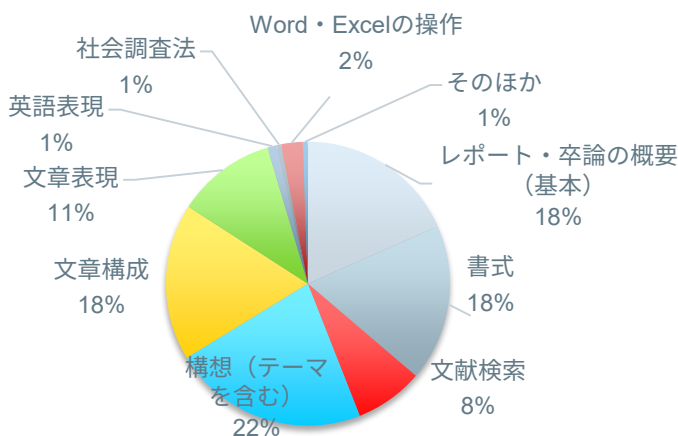
\*対面相談枠は45分の設定としているため45分の区切り、オンライン相談枠は60分の設定としているため60分の区切りで、それぞれで算出している。以下、特記しないかぎり、これにしたがって算出している。

### (2) 相談内容

【相談内容種別の割合】



【相談内容性質の割合】



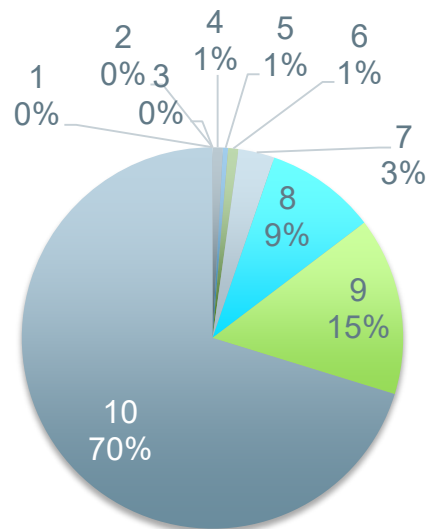
### (3) 学部（大学院）・学年別 \*単位：人 表中、「国際」は「国際文化」を、「先端理工」は「理工」を含む。

学年	文	経済	経営	法	政策	国際	先端理工	社会	農	短期大	学年合計
1年	161	0	8	8	4	158	11	37	25	37	449
2年	111	0	1	2	1	29	4	32	9	7	196
3年	41	26	8	1	5	16	1	1	38	—	137
4年 以上	79	34	3	7	7	68	10	60	61	—	329
修士	11	3	0	0	0	4	0	3	0	—	21
博士	7	0	0	0	0	2	0	0	0	—	9
学部 合計	410	63	20	18	17	277	26	133	133	44	1141

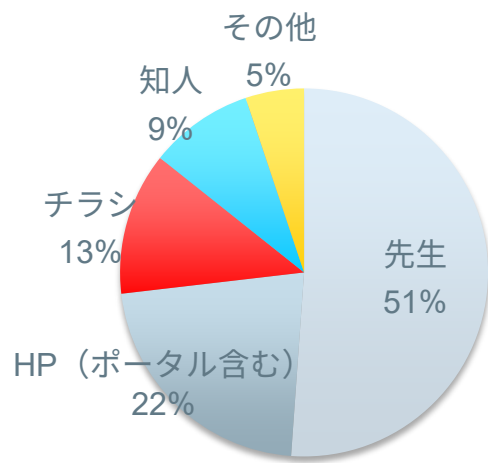
(4) 学部・研究科・学科別 ＊単位：人

学部 研究科	学 科 (専攻・課程)	相談 者数	合計	参考 昨年
文学部	真宗	30	392	7
	仏教	77		73
	哲学・哲学	25		16
	哲学・教育	24		10
	臨床心理	18		6
	歴史・日本史	23		7
	歴史・東洋史	20		6
	歴史・仏教史	49		3
	歴史・文化遺産学	0		1
	日本語日本文学	108		7
	英語英米文学	18		22
経済学部	—	0	60	1
	現代経済	59		42
	国際経済	1		8
経営学部	経営	20	20	22
法学部	法律	18	18	15
政策学部	政策	17	17	2
国際学部	グローバルスタディーズ	161	268	142
	国際文化	107		128
国際文化	国際文化	3	3	0
先端理工学部	数理・情報科学	5	15	0
	知能情報メディア	3		2
	電子情報通信	2		2
	機械工学・ロボティクス	5		3
	応用化学	0		0
	環境生態工学	0		2
理工学部	機械システム	2	11	0
	情報メディア	8		4
	数理情報	1		0
社会学部	社会	91	130	41
	コミュニティマネジメント	25		18
	現代福祉	14		25
農学部	植物生命科	12	133	6
	資源生物科	12		1
	食品栄養	11		3
	食料農業システム	98		3
短期大学部	社会福祉	44	44	1
文学研究科	真宗学	1	18	5
	仏教学	17		0
	日本史	0		2
経済学研究科	経済学	3	3	0
社会研究科	社会学	2	3	0
	社会福祉学	1		14
国際学研究科	言語コミュニケーション	2	6	0
	国際文化学	4		0
留学生別科	—	0	0	1
合 計		1141	1141	652

(5) 利用者の満足度  
(最高値10、最低値1)



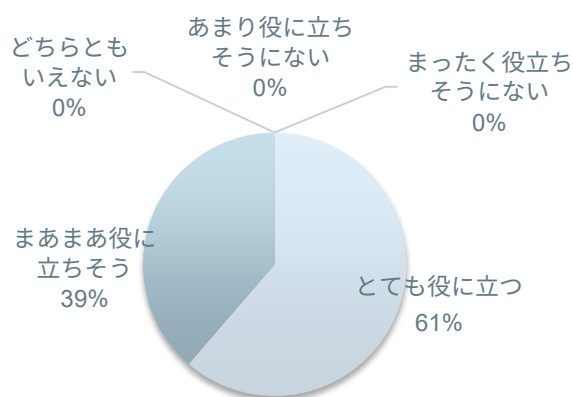
(6) 広報の効果



## (7) 講習会

講習テーマ	実施形態 (場所)	実施日	時間帯	予約数	参加者数			予約数に対する参加者 合計の割合
					対面	オンライン	合計	
①レポートのタイプを知る —レポートを書きはじめる前に—	ハイブリッド (Google Meet + 和顔館アクティビティホール)	5/18 (水)	12:40 ～ 13:20	14	3	5	8	57.1%
②レポートの実際を知る —論証とは—		5/25 (水)		19	3	4	7	36.8%
③卒業論文・卒業研究をスムーズに作成するために ～論文の基本、再確認！～		10/31 (月)		70	5	54	59	84.3%
④レポートの作り方 ～引用の仕方と注・参考文献の書き方～		11/7 (月)		89	3	57	60	67.4%
⑤レポート・卒論・卒研に役立つ資料の探し方		11/14 (月)		88	5	41	46	52.3%
合 計				280	19	161	180	64.3%

### 【講習会参加者の評価】



### \*ライティングサポートセンターの取り組み

ほかにも以下のような取り組みを行いました。

- 先生方と連携した出張講習  
先生からの要望を受けて、レポートにかんするテーマで授業実施教室にて実施しました。年間5件（学生受講数合計345人）を行いました。
- 先生方と連携したレポート課題  
年間8件（相談対応数216件）でした。
- 図書館との連携  
第1学期（前期）・第2学期（後期）それぞれにテーマを設け、テーマに沿った選書を展覧してもらい、ライティングと表裏一体の読書を学生に促しました。

## ご案内 学科・部署との連携

2022年度は、以下のような連携を行いました。

### (1) レポート添削方法の研修

対象：社会学部コミュニティーマネジメント学科ゼミサポーター  
日時／場所：5月27日（金）昼休み時間帯／オンライン（zoom）  
解説者：ライティングスーパーバイザー

### (2) 高大連携推進室との連携による講習会

対象：龍谷大学附属平安高等学校3年生  
日時／場所：5月10日（火）14:30～15:00／龍谷大学附属平安高等学校  
テーマ：どういふふうを書く 大学で書く学びにつなげるヒント  
解説者：ライティングスーパーバイザー  
概要：感想文とレポートのちがい、および一文一義で書く意義を解説する。

### (3) 学生部との連携による講習会

日時／場所：5月11日（水）12:40～13:20／オンライン（zoom）  
テーマ：なるほど、レポートのコツ  
解説者：ライティングスーパーバイザー（センター紹介でチューターからの一言アピールあり）  
概要：感想文とレポートのちがい、およびレポートのタイプに応じた書き方を解説する。  
参加者：108人（関係者除く）

ご要望は、奥付にある【連絡先】までお寄せください。

ライティングサポートセンターでは、以下の要領で先生からの依頼を受けて出張講習を実施しております。ご活用くださいますよう、ご案内申し上げます。

## 【出張講習の要領】

### 1. 出張講習の実施者・対象・実施対応日・実施場所

- 1) 実施者：スーパーバイザー、もしくはチューター・リーダー（1名）
- 2) 対象：原則として、1年生の受講科目を対象とします。  
ただし、その他の授業についても、ご相談の上、実施することを検討させていただきます。
- 3) 実施対応日：月～金曜日 10：00～17：00
- 4) 実施場所：授業実施教室

### 2. 実施内容

以下の4つの講習テーマを用意しております。そのなかから1つをお選びください。それぞれの概要は、次頁をご覧ください。所要時間は各テーマおよそ60分です（そのうち、センターの紹介やアンケートに少々時間をください）。

- ① レポートにおけるテーマの絞り方
- ② レポートの作り方A——構成を知ろう
- ③ レポートの作り方B——手順を知ろう
- ④ レポートの作り方C——引用の仕方・注と参考文献の書き方

### 3. 実施までの経緯

- 1) 連絡先 [wsc@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:wsc@ad.ryukoku.ac.jp)
- 2) 連絡から実施までの流れ
  - ① 実施希望日の2週間前までにご連絡ください。
  - ② その後、簡単な打ち合わせをお願いします。
  - ③ 授業実施教室にて実施します。
- 3) ご連絡いただく内容
  - ① 先生のお名前
  - ② メールアドレス
  - ③ 該当科目名
  - ④ 受講者数
  - ⑤ 実施内容（「2. 実施内容」①～④の中から1つ選んでください。）
  - ⑥ 実施希望日（候補日を3日ほどお知らせください。）
  - ⑦ 実施場所（設備の面で、教室変更をお願いする場合があります。）
  - ⑧ そのほか（ハイブリッド形態で実施するなど）

### 4) 注意事項

- ・極力実施できるように努めますが、日程が合わないなど、やむをえず実施できない場合はご了承ください。
- ・センターの出張講習は、1つの講義科目につき、1回とさせていただきます。



## 【各講習テーマの概要】

### ①レポートにおけるテーマの絞り方

レポート課題を提示されてもどのように取り組んでいけばよいのかわからない学生が数多くいます。本講習では、レポート課題に則して、自分なりの観点を見出していく過程を説明します。まず、自分のレポート課題に対する興味のあるところを考える方向です。次に、興味や関心があることを軸に検索し、収集した情報をもとに広がりや深みを探ります。最後に、レポート課題との関係性を考えます。このような流れを把握してもらっています。

### ②レポートの作り方A ――構成を知ろう！

本講習は、レポートを作成する基本的な事項として、その構成を把握してもらっています。具体的には、まず、レポートを難しく感じる原因に、問いの設定および自分の考えが不明瞭なままに書きすすめる点にあることを解説します。自分の考えが明確にできたら、次にそれを読み手に分かりやすく伝えなければなりません。そのためのレポートの基本的な構成として、序論、本論、結論の役割について簡潔に説明します。なかでも序論の重要性を強調して解説します。序論ではそのレポートで自分が主張したいことを明確にし、本論は序論における主張の裏づけとしての役割を担います。結論は序論との対応を確認し、本論の要点のみを簡潔にまとめます。そのような説明のあと、レポート見本を用いて確認します。

### ③レポートの作り方B ――手順を知ろう！

本講習は、レポートを作成していく際の思考の仕方と、作成過程を理解してもらうことが目的となっています。具体的には、「メモ」「構想表」を用いることを重視して説明します。その際に「読む」「調べる」「メモ」の過程を、必要に応じて「メモ」や「構想表」の実例を示しながら解説します。「構想表」については、序論・本論・結論の要点を踏まえながら、「メモ」を活用して論理の道筋をつくっていくあり方を提示します。また、推敲の必要性についても付言し、完成に至るまでの経緯を知ってもらいます。

### ④レポートの作り方C ――引用の仕方・注と参考文献の書き方

本講習は、引用の大切さを理解すること、そして注・参考文献の書き方をマスターすることが目的です。これらの表記方法については、おおそ『社会学評論』の「スタイルガイド」に拠っています。具体的には「直接引用する方法」や「要約引用する方法」を説明し、実際のレポートを交えて理解を促します。その後、実際に引用したものに注をつけ出典を掲示するという一連の工程を示します。最後に様々な参考文献（インターネットも含む）の書き方を説明します。

## ご案内

## 授業実施教室でのライティングサポートセンター紹介・説明

ライティングサポートセンターでは、学生に利用を促す一環として、先生方が授業をされている教室へ出張して、当センターの紹介・説明を行っております。所要時間は、10分程度です。概要は、つぎのとおりとなっております。

### 【ライティングサポートセンター紹介・説明の概要】

- (1) ライティングサポートセンターとは  
センターの基本姿勢や対応範囲などを説明します。
- (2) よくある相談  
具体的にどのような相談がよく寄せられるのかを紹介します。
- (3) 参考資料  
ごく簡単にセンターで用意している資料について紹介します。
- (4) 本年度の開室  
本年度の開室情報を提示します。

ご要望は、奥付にある【連絡先】までお寄せください。



ライティングサポートセンター（以下、センター）主催の講習会を下記のとおり実施いたします。つきましては、教員各位からも学生に講習会開催についてご案内いただきたくご依頼申し上げます。センターの利用者アンケート結果では、利用したきっかけの半数以上が先生方からのご紹介です。少しでも多くの学生に情報を届けるため、可能でしたら授業のなかでご周知いただけますと幸いです。ご協力いただける場合は、先生方の大切な授業の時間を割いていただくことになり、誠に申し訳ございません。何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

講習会では、チューター・リーダー（大学院生）がパワーポイントを用いて説明いたします。

実施は、対面とオンラインのハイブリッド形式を予定しております。瀬田学舎では、深草キャンパスの講習会をライブ配信いたしますので、PC等を用いてオンライン参加してもらう必要はありません。

## 記

### 1. 講習会の内容

- ① 講習テーマ：レポートのタイプを知る－レポートを書き始める前に－  
日時：2023年5月24日（水）12：40～13：20  
概要：レポートと感想文とのちがい、整理型と論証型のとらえ方を解説する内容です。
- ② 講習テーマ：レポートの実際を知る－論証とは－  
日時：2023年5月26日（金）12：40～13：20  
概要：多くの学生が難しいと感じる論証型レポートの、とりくむべき要点を解説する内容です。

### 2. 参加方法

人数把握のため、事前のお申込みをお願いしております。

対面：深草学舎 和顔館 1F アクティビティホール

※ 当日の講習会は、オンライン画面を録画します。

また、対面会場を撮影する場合があります。あらかじめご了承ください。

瀬田学舎 智光館 B1F スチューデントコモンズ ライティングサポートセンター

※ 深草キャンパスの講習会をライブ配信します

オンライン：GoogleMeet ※ 当日参加URLをメールにてお送りします

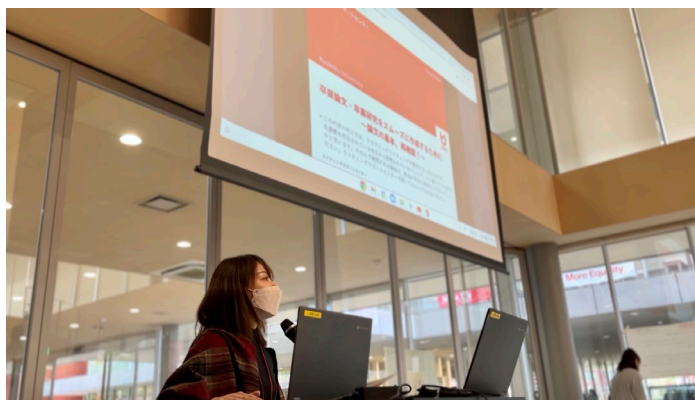
### 3. 学生向けのチラシ

龍谷大学ライティングサポートセンターのWebページにアップしています。

ダウンロードしてご利用いただけます。

また、必要部数を申し出ていただければ、印刷してお渡することもできます。

ライティングサポートセンター <https://www.ryukoku.ac.jp/writingsupport/>



\*お問い合わせは、奥付にある【連絡先】までお寄せください。

平素よりライティングサポートセンター（以下、センター）の活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、標記の件について、センターを学生に周知していただきたく、下記のとおりご依頼申し上げます。先生方におかれましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

センターでは、学生へのアカデミックライティングの指導を主な目的として、「学生に考えさせる」（答えを教えず、考え出す機会を与える）ことを基本姿勢に、大学院生を中心としたチューターがレポートや論文作成など、書くことに関するサポートを行っています。センターへのご意見・ご質問などがございましたら、奥付にある【連絡先】までお寄せください。

## 記

### ご依頼の内容

学生にセンターについて以下の事項について、ご紹介ください。

#### 1) センターの概要

レポートや卒業論文など書くことにかかわる相談に応じるところです。センターでは、大学院生のチューターがいっしょに考え、学生のみなさんが自らの答えにたどり着けるようサポートします。レポートや論文、レジюмеなどを作成するにあたって、例えば、次のようなケースで当センターをご活用ください。

- レポート課題や卒業論文などについて、どのように取り組めばよいのかわからない。
- 書いてみたものの、文章に自信がないので他の人に意見を聞きたい。
- 根拠になる資料を探したいけど、どうすればいいのかわからない。
- 英語でレポートを書かないといけないけど、形式や表現に自信がない。

\*資料も用意しています。「レポート書式見本」や「レポートを書くためのチェックシート」など、ほかにも多数用意しているので、相談時、チューターに聞いてみてください。

#### 2) 利用方法

各学舎開設場所まで直接お越しください。

【日時】 4月17日～7月27日 11:30～16:00（受付15:45まで）

\*基本は授業実施日に準じます。

【場所・曜日】

深草：和顔館1F スチューデント commons 月～金曜日

大宮：東翼2F スチューデント commons 月・水・木曜日

瀬田：智光館B1F スチューデント commons 月・火・水曜日

【利用方法】 対面・オンラインでの相談が可能です。

◆ 対面での相談について（予約不要）

◆ オンラインでの相談について（要予約）

ホームページ（<https://calendar.app.google/pQy5TmASQ9sVwaks9>）から予約が必要です。



<参考> ライティングサポートセンターの紹介動画（1分39秒）

<https://drive.google.com/file/d/1yhggslWlrrFftwrzKQPHDPD67uusNYZQ/view?usp=sharing>



【編集】

ライティングサポートセンター  
（教学企画部）

E-mail: [wsc@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:wsc@ad.ryukoku.ac.jp)  
担当：教学企画部 栃木、荒木  
（内線1050,1051）